



# 箕面小だより



箕面市立  
箕面小学校  
令和6年(2024年)  
11月号

学校教育目標  
めざす子ども像  
めざす学校像

支え合い、ともに伸びゆく箕面小っ子

ともに考える子(知)、ともに高め合う子(情)、ともにやりぬく子(意)

○あいさつと笑顔であふれる学校

○思いやりと優しさが感じられる学校

○高学年が在校生の「あこがれ」の存在となる学校

○保護者・地域とともにあゆみ、信頼される学校

## たからもの

校長 垣内 幸太

10月12日、この日を祝福してくれているかのような晴れ渡る空のもと、150周年記念式典ならびに箕面小バースデイフェスタを盛大に開催することができました。午前中には、原田市長をはじめ、地域の方々や歴代校長など本校をお支えいただいているの方々をお招きして、箕面小らしいあたたかい式典をとりおこなうことができました。また、本校卒業生で日本キッザニアの創業者でもある住谷栄之資様には貴重なご講演をいただきました。ありがとうございました。

午後からのバースデイフェスタには、テーマであった「集う」の言葉通り、3000人ほどの皆様がお越しになられたと聞いています。学校中どこを歩いてもたくさんの笑顔が溢れ、素敵な時間が流れていました。実行委員会の皆様は、1年以上前から計画、準備を重ねてこられました。記念グッズやTシャツづくり、記念冊子制作、箕面小へのプレゼント企画、広報活動、寄付金募集、フェスタの企画、外部との折衝、ボランティアスタッフの募集…、昼夜を問わず、様々な方面で奔走してくださいました。また当日も多くの方が力をお貸しくださいました。地域、保護者の方々の大きな大きな力を感じられた一日でした。この力は箕面小が150年つないできた「たからもの」です。これからもずっとつないでいってくれることを心より願っています。

11月2日には運動会が開催されます。運動会は、勝ち負けを決める、昨今の学校教育においては数少ない行事のひとつです。走競技や団体競技では、勝つ喜び、負ける悔しさを味わいます。子どもたちは勝ちに向かって練習に取り組みます。本番でも全力を尽くします。喜びや悔しさはその努力の証です。しかし、努力した過程、全力を出した事実は、結果の如何に関わらず崇高で価値のあるものです。この運動会という行事を通して、子どもたちには「勝った!負けた!」のみでははかることのできない「たからもの」を手に入れてもらいたいと願っています。

我々大人は、子どもたちの全力の姿をしっかりと見取り、価値づけられる存在でなくてはなりません。皆様が、おうちで賞賛や励ましのお言葉をかけていただいているように、学校でも、その過程をしっかりと価値づけていくとともに、勝敗を超えて互いに賞賛し合える心を育ていけるよう努めてまいります。狭い運動場で毎年観覧に関してご協力いただいておりますが、今年度は、配置などを工夫(前方面を広く開放)して保護者の方々に子どもたちの頑張りを見てもらいやすいようにしております。互いに譲り合ってご観覧いただき、大きな拍手と声援をよろしく願います。